

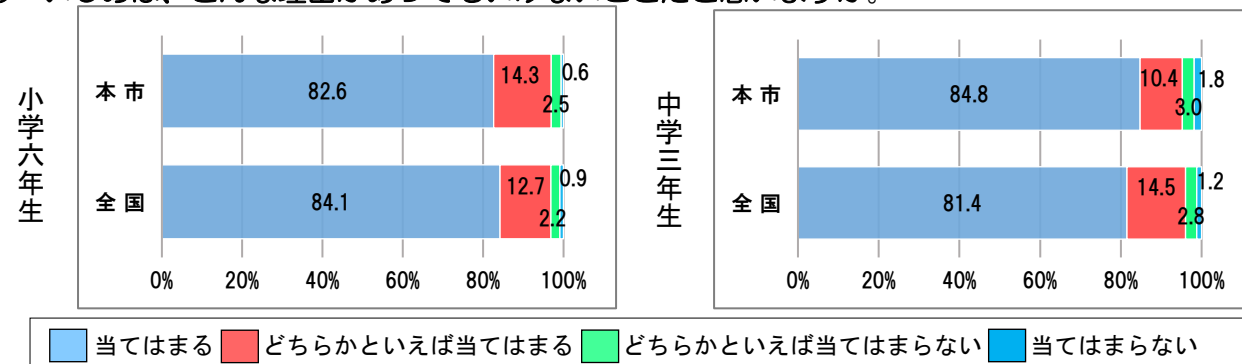
いじめについて

いじめは、ぜったいにゆるさない。いじめのない学校を目指して！

学校では、いじめアンケートや相談活動等を実施し、きめ細やかな実態把握と迅速な対応ができるよう努力しています。また、いじめの根絶に向け、道徳や学級活動等の学習を通じて取り組んでいます。

いじめの未然防止、早期発見・早期対応のためには、ご家庭の協力が不可欠です。日頃から子どもとのコミュニケーションを大切にいただき、悩み事等があれば相談できる環境づくりに、今後ともご尽力ください。家庭と学校が連携し、いじめから子どもたちを守りましょう。

◎ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。



ひとりで悩まないで！ 悩みを話してみませんか。

学校に行きづらい、いじめられているかもしれないなどの悩みや不安について、一緒に解決の方向を探っていきたいと考えています。

いじめ、ネットいじめ

- ・子供 SOS ダイアル（文部科学省）
0120-0-78310（24 時間対応）
- ・ネットいじめ通報サイト（京都府教育委員会）
＜パソコン・携帯電話・スマホから＞
http://www.kyoto-be.ne.jp/gakkyou/cms/?page_id=118/

不登校

- ・木津川市適応指導教室（ふれあい教室）
＜電話相談＞0774-72-2811（1300-1700）

体罰（たいばつ）

- ・体罰専用電話（京都府教育委員会）
075-612-5013（毎週水曜日 1130-1830）

いろいろな悩みごと

- ・京都いのちの電話
075-864-4343（24 時間対応）
- ・少年サポートセンター＜ヤングテレホン＞
075-551-7500（24 時間対応）
- ・京都府総合教育センター（24 時間対応）
＜ふれあい・すこやかテレフォン＞
075-612-3268 または 3301
＜メール相談＞
<http://www.kyoto-be.ne.jp/ed-center/m/soudan.htm>

スクール・カウンセラー

- ・巡回相談（各中学校）
学校の先生に、相談日と時間の予約をしてください。
- ・市カウンセリングルーム（中央図書館2階）
＜電話相談＞（木・金曜日 1430-1530）
0774-72-2650
＜面接相談＞（木・金曜日 930-1730）
予約：0774-75-1230（月～金曜日：学校教育課）

問い合わせ先 木津川市教育委員会 学校教育課 0774-75-1230(月～金曜日 8:30-17:15)

〒 619-0286 京都府木津川市木津南垣外 110 番地 9

生きる力をはぐくみ 新しい時代を拓く “きづがわっ子” を目指して

令和3年度 木津川市教育委員会

子どもたちの健やかな成長を目指し、保護者・地域の皆様とともに

～ 令和3年度全国学力・学習状況調査結果から ～

木津川市の小・中学校では、子どもたちが未来の社会を自立し、豊かに生きていく基盤をはぐくむため、全ての子どもたちに質の高い学力を身に付けさせるとともに、一人ひとりの能力、個性を最大限に伸ばす教育の推進に努めております。

子どもたちの健やかな成長のためには、子どもたちの現在の実態を直視し、学校・家庭・地域社会が連携し、社会総がかりで子どもを守り育てることが大切です。

令和3年5月27日に実施された令和3年度全国学力・学習状況調査結果をもとに、木津川市の子どもたちの学力と生活実態の状況についてお知らせし、保護者や地域の皆様のご理解とご支援をお願いする次第です。

調査の概要

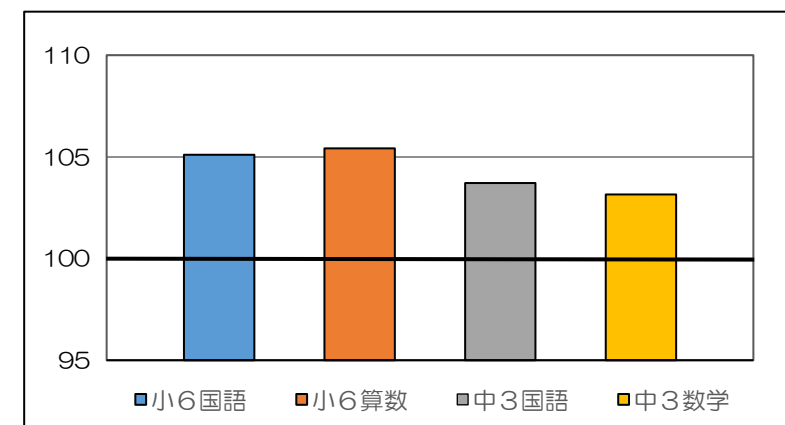
- (1) 目的 全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。小学校6年生、中学校3年生（原則として全児童生徒対象）
- (2) 方法 小学校：国語(40分)、算数(40分)、児童質問紙
中学校：国語(45分)、数学(45分)、生徒質問紙
- (3) 内容 令和元年度よりA問題とB問題の区別を無くして実施
児童生徒質問紙：学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査

学力の状況について

全ての教科で、全国平均を上回っています。

本市の児童生徒の平均正答率は、全ての教科において全国平均を上回っています。今後とも、個々の児童生徒に視点をあて、より質の高い学力を身に付けさせるため、さらなる「知識」の定着と、「活用能力」の育成を目指していきます。

なお、グラフは全国平均を100とし、標準化した数値を表しています。



家庭生活の状況について

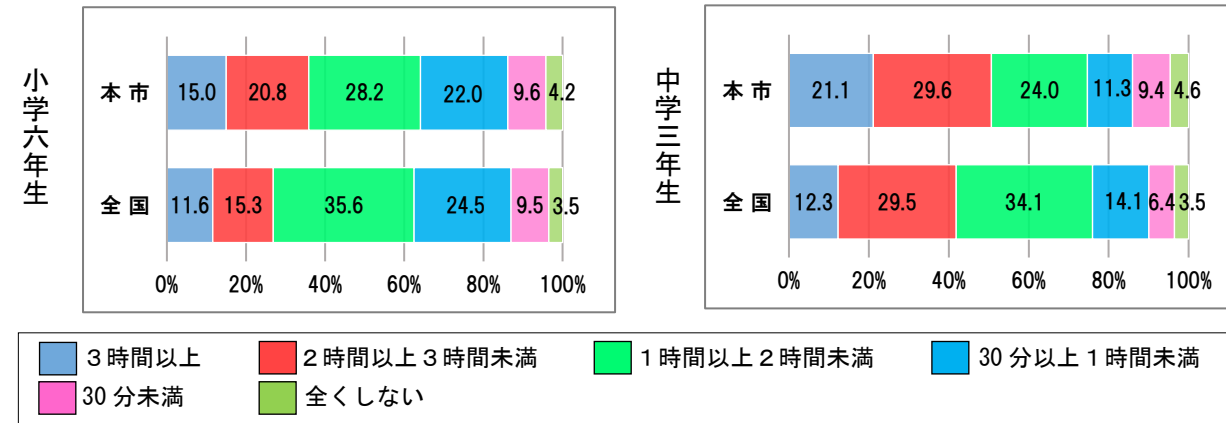
家庭でのよりよい生活・学習習慣のさらなる定着を目指して！

＜本市の児童生徒の主な特徴＞

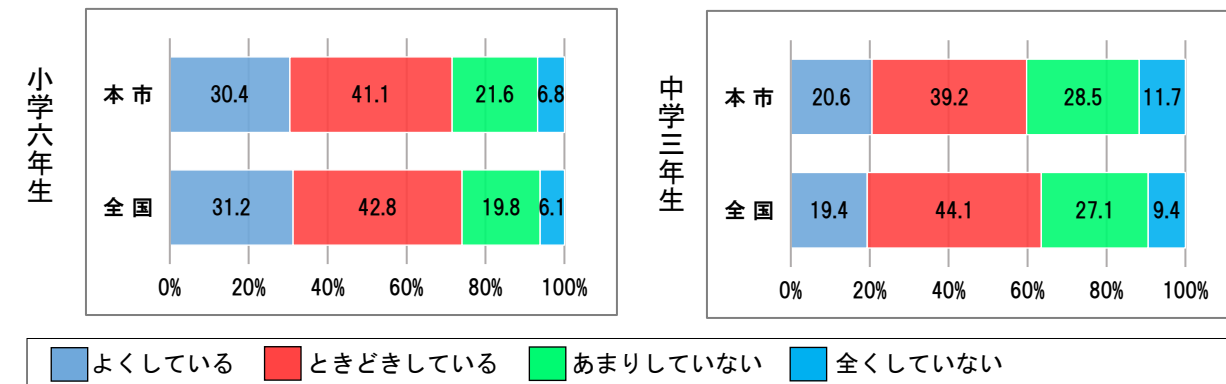
- ・学校以外での学習時間の長い児童生徒が多い。一方で、家庭等で計画的に学習が出来ていない児童生徒も少なくない。
- ・「自分によりよいところがある」と肯定的に感じている児童生徒が８割程度いる。（特に中学生に多い）
- ・携帯電話やコンピュータを使う約束について守れているが、約束がない家庭もある。

よりよい生活習慣・学習習慣を身に付けるため、今後も学校と家庭が連携を深めていきましょう。

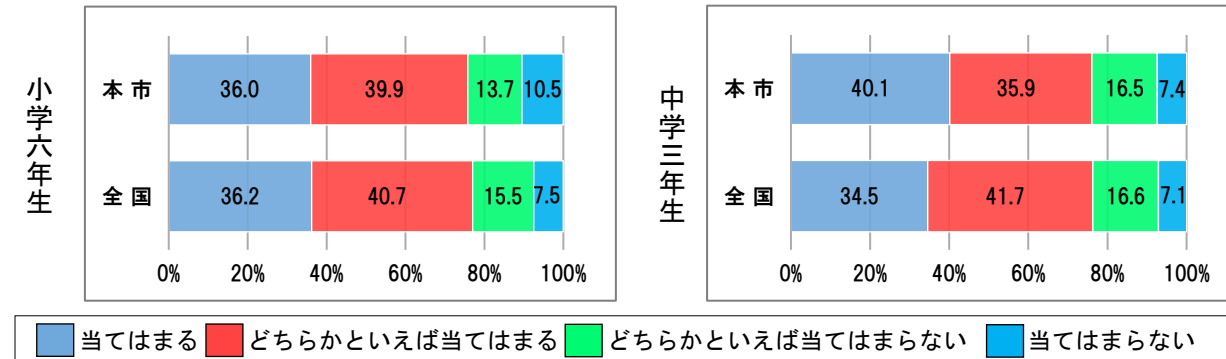
◎ 学校の授業時間以外に、普段、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。



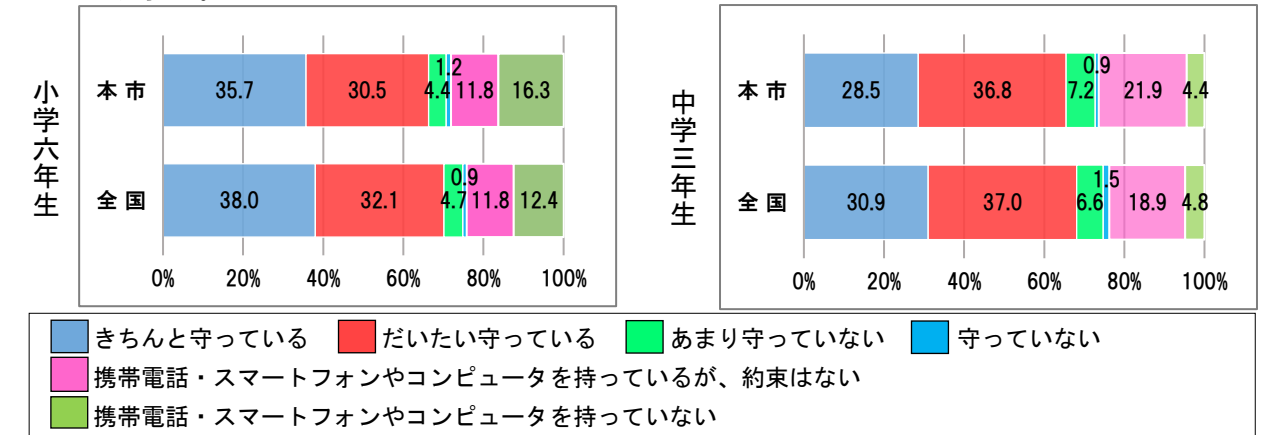
◎ 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。



◎ 自分には、よいところがあると思いますか。



◎ 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。



GIGAスクール構想に基づき、一人一台タブレット型パソコンを活用して、高度情報化社会に対応する力の育成を図っています。

パソコンは、インターネットで世界中の様々な情報を調べることができたり、考えを表現したりできる便利なものですが、正しく使用することがとても大切です。情報を使いこなすため、情報モラル・コミュニケーション能力を身に付けられるよう、学校と家庭が協力をしていきましょう。

1. 安全に使うため、学校と家庭でのルールを守りましょう。

- ・『タブレット型パソコン活用上のルール』を守るようにしましょう。
- ・学習活動以外に使用しない、使用時間を守る、アカウントとパスワードを他人に教えないなど、十分気を付けましょう。

2. インターネットの特性を理解し、個人情報等の扱いに気を付けましょう。

- ・個人情報や、他人を傷つけたり、嫌な思いをさせる誹謗中傷等は、絶対に書き込まないようにしましょう。
- ・本人の許可無く写真を撮ったり、録音・録画しないようにしましょう。

3. 健康面に配慮しながら使用しましょう。

- ・パソコンを使用するときは良い姿勢を保ち、机といすの高さを正しく合わせて、目と端末の距離を30cm以上離しましょう。
- ・部屋を明るくし、30分に1回は20秒以上、遠くを見て目を休ませましょう。

防災ハンドブックを改訂。日頃から、災害にも備えましょう。

防災ハンドブックを改訂し、全児童・生徒に配付しました。

見易く、親しみやすいイラストやデザインとし、災害を身近なこととして捉えられるよう工夫しました。災害が起こっても、自分の命を自分自身で守れるよう、ハンドブックを活用して、家庭でも話し合ひましょう。

